

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【公開番号】特開2012-79933(P2012-79933A)

【公開日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-016

【出願番号】特願2010-224031(P2010-224031)

【国際特許分類】

H 01 L	21/3205	(2006.01)
H 01 L	23/532	(2006.01)
H 01 L	21/768	(2006.01)
H 01 L	21/288	(2006.01)
H 01 L	21/28	(2006.01)
H 01 B	1/22	(2006.01)
H 01 B	13/00	(2006.01)
C 22 C	9/10	(2006.01)
C 22 C	9/00	(2006.01)
C 22 C	9/06	(2006.01)
C 22 C	9/02	(2006.01)
C 22 C	9/05	(2006.01)
C 22 C	9/01	(2006.01)
C 22 C	1/00	(2006.01)

【F I】

H 01 L	21/88	M
H 01 L	21/288	Z
H 01 L	21/28	3 0 1 R
H 01 L	21/88	B
H 01 B	1/22	A
H 01 B	13/00	5 0 3 D
C 22 C	9/10	
C 22 C	9/00	
C 22 C	9/06	
C 22 C	9/02	
C 22 C	9/05	
C 22 C	9/01	
C 22 C	1/00	J

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献1】特許3870273号公報

【特許文献2】特開2010-121206号公報

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、特許文献1、2に開示されている方法では、高温に加熱しなければ低抵抗な配線（電極）が得られない。また、特許文献1の段落0 0 1 6に記載のとおり、従来の方法は、焼成処理によって低抵抗化しているが、2 0 0 付近で原子状水素などの還元ガス雰囲気中で行うなど、雰囲気を選ぶという課題がある。さらに、銅は保存状態によっては容易に酸化してしまうため、材料としての安定性が悪いという課題がある。